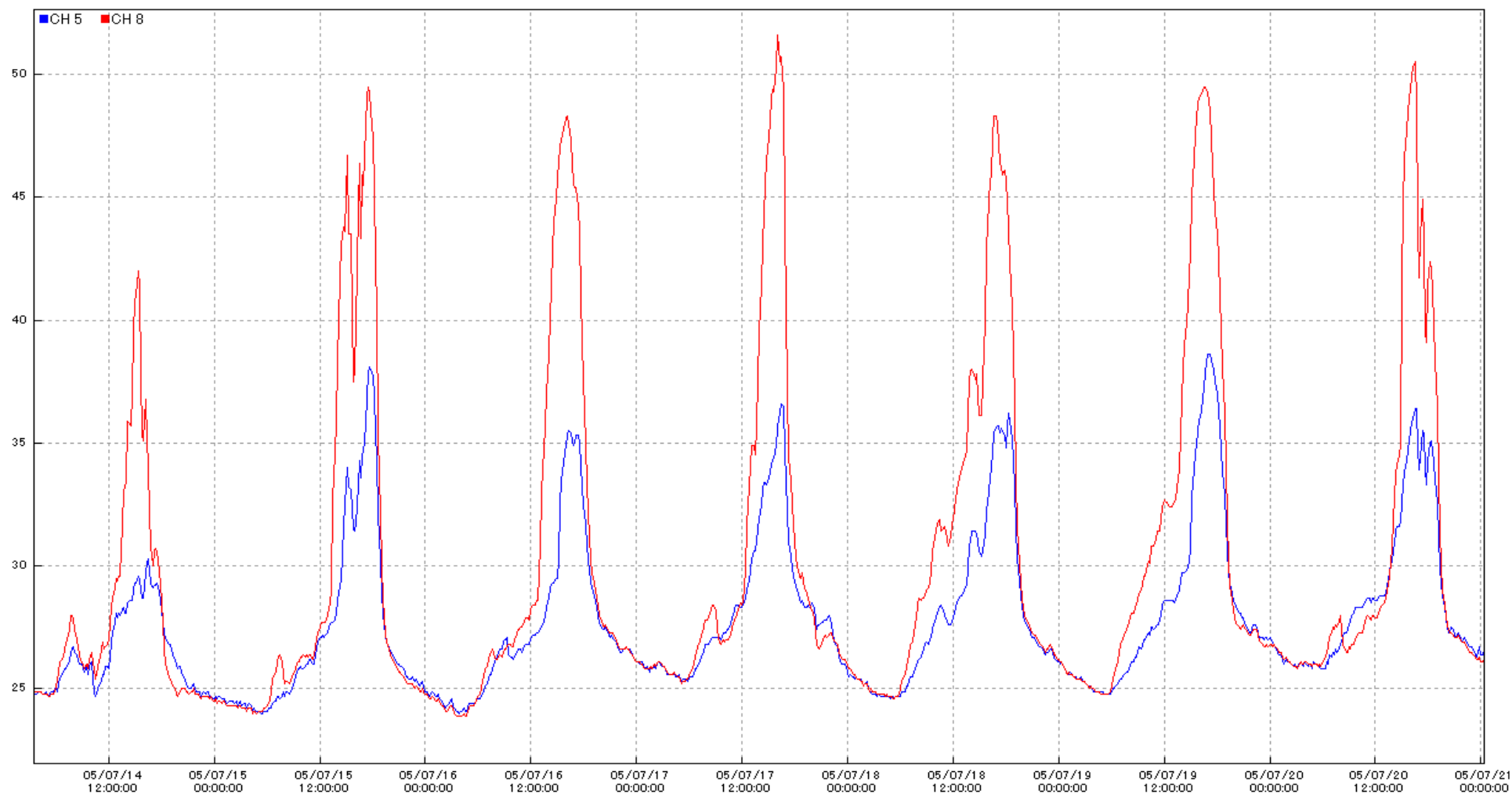


施工場所 熊本県玉名市内(某医療施設の一室) 使用フィルム SB30 記録測定器 HIOKI DataMini 3633  
計測器位置 CH5、CH8共に床より約1メートル、窓ガラスより約10センチメートル。  
CH8=フィルム貼付施工なし CH5=SB30 貼付施工あり 計測期間 平成16年7月14日より7月21日 記録間隔 30分



データ分析コメント: ピーク時、最大温度差 15°C フィルム施工が無い窓は、室内温度が屋外温度に影響を大きく受けている。  
特に日射のある午後に室温の上昇が大きく見られる。このSBフィルムは吸収型(赤外線吸収)のフィルムの為、夜間の放射熱を室内側に反射していないので温度差はあまり出ていない。